

オートライト (コンライト) ユニット TATLIGHT-01 取付説明書

パーソナルCARパーツ

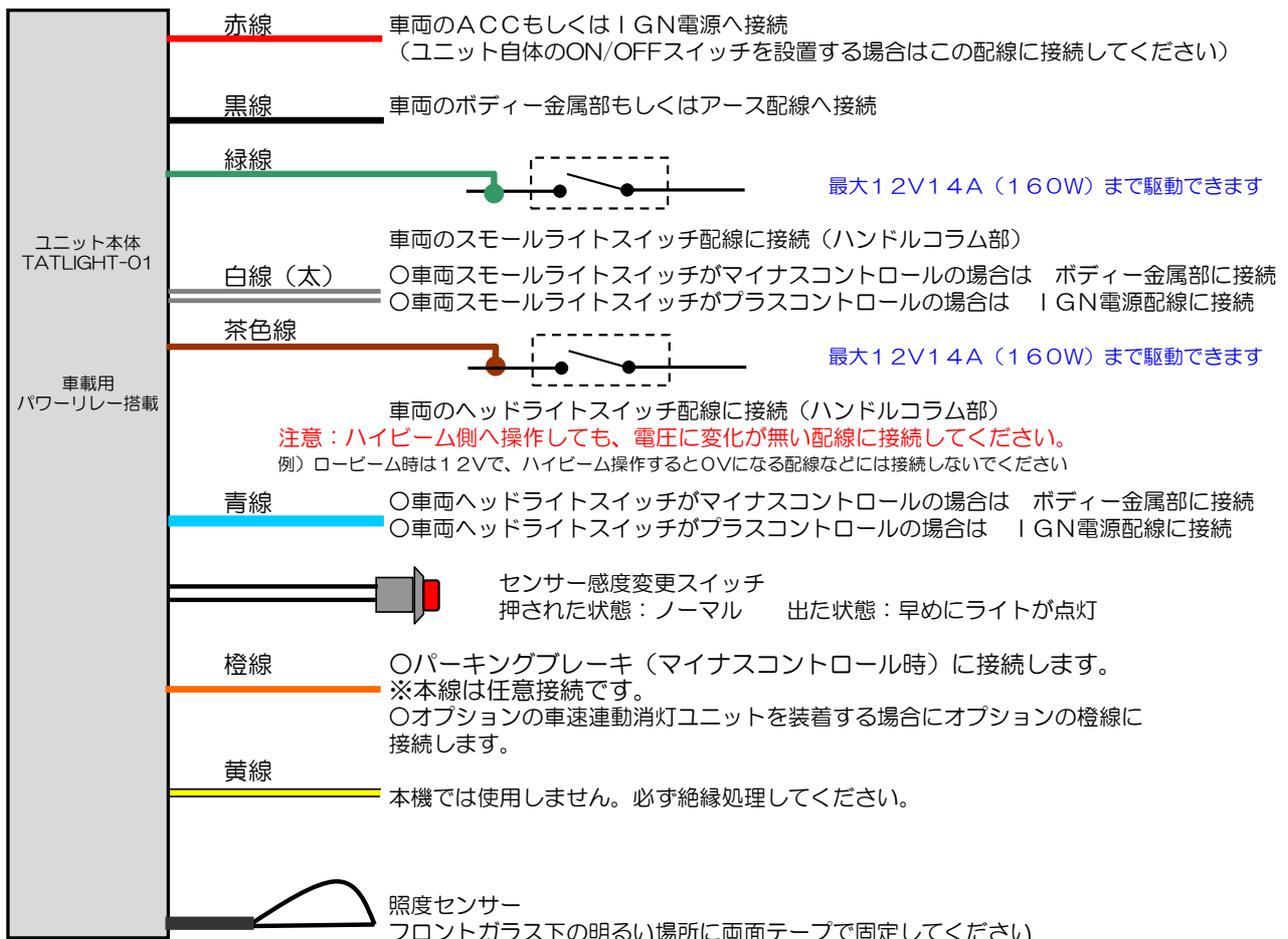
この度はオートライトユニット TATLIGHT-01 をご購入いただき誠にありがとうございます。
本機を取り付ける際は、予めバッテリーのマイナス側ターミナルを取り外し、感電、短絡事故が発生しないよう、充分に気をつけて作業を行ってください。
短絡 (ショート) を発生させると最悪の場合、各種 ECU (車に装着されているコンピュータ) が破損し走行不能に陥ることも予想されます。 充分予備知識を蓄えた上で、取り付け作業にとりかかるところをお勧めします。
また、取付けに関するサポートは出来る限りさせていただきますので、お気軽にメールをください。
車種毎の配線図を車を購入されたディーラから入手されると、より具体的なサポートが可能となりますので、ご一考願います (必要な部分は、ライトスイッチ周りの配線図です)
それでは、本機が快適なカーライフの一助となれば幸いです。

動作仕様

本ユニットの動作仕様は、下記のとおりとなります。

- ◎周囲の明るさをセンサーが感知し、薄暮状態でスモールランプを自動点灯し、更に暗くなるとヘッドライトを自動点灯します。周囲が明るくなるとそれぞれ自動消灯します。
- ◎センサー感度は2段階調整が可能です。
- ◎キーオフと同時にライトが自動消灯します。
- ※本ユニットは12V車専用です。 [12V車両以外には取付けできません。](#)
- ※本ユニットでのヘッドライト自動点灯時、車両レバー操作による 遠目側 が利かない車両があります。その場合は、手動でヘッドライトを点灯状態にした後、遠目に切り替えてください。
(パッシングは別回路となっている場合が多いのでほとんどの場合、通常とおり使用できます)
- ◎パーキングブレーキ有効時に自動消灯します。
- ◎信号待ち等の車両の停止中に自動でヘッドランプを消灯 (スモールランプは点灯) します。 ※オプション装着時

配線図



- 注意: マイナスコントロールとはスイッチオンでボディーアースとなる状態で、
プラスコントロールとはスイッチオンで+12Vが通電となる状態をあらわします。
- 注意: 緑線及び茶線は10~15A程度流れる可能性がありますので、車両側への接続、
絶縁処理はしっかり確実に行ってください。

取 付 け 手 順

免責事項

装着の着手を以って、下記事項をご了承頂いたものとさせていただきます。

1、本装置の装着は全て自己責任のもとで実施願います。

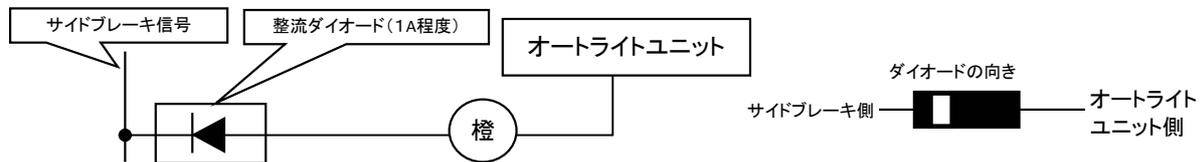
2、本装置装着による結果、または過程においてどのような事態に陥っても弊社に責は無いものとします。

※取り付けにはテスターまたは検電ペンが必要です。

※作業開始前に 配線図 をよく御覧いただき、各配線の接続先について理解をお願いします。

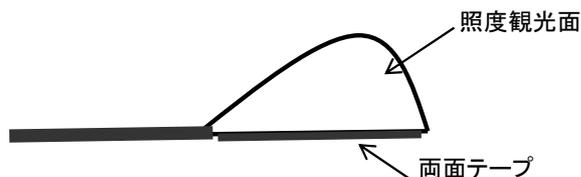
1. 車両のスマールライトスイッチ配線をテスターで探します。
ハンドルコラムカバーを外し、ライトスイッチレバーから出ている配線をテスターで確認できる状態にします。
スマールライトスイッチをON/OFF 繰り返して、電圧に変化がある配線を特定します。
スマールライトスイッチONで12Vから0Vに変化する場合は、マイナスコントロール制御、逆に0Vから12Vに変化する場合は、プラスコントロール制御となります。
2. スマールライトスイッチ配線関係の配線を結線します。
車両スマールライトスイッチ配線に、本体ユニットから出ている 太い緑配線を接続します。
次に装置から出ている太い白配線を、スマールライト制御がマイナスコントロール制御の場合はボディー金属部へ、プラスコントロール制御の場合はIGN（イグニッション）電源に接続します。
※10～15アンペア程度流れる可能性があるため、IGN電源配線は充分電流容量がある場所から分岐してください。
キーシリンダ部に配線されている太いIGN電源配線もしくは、ヒューズボックスなどから直接分岐してください。
※配線接続、ボディー金属部への接続はしっかりと確実に行ってください。
3. ヘッドライトスイッチ配線関係の配線を結線します。
車両ヘッドライトスイッチ配線に、本体ユニットから出ている 太い茶配線を接続します。
ヘッドライトスイッチ配線はロービーム側信号配線に結線しますが、車両によっては、ロービーム時12Vで、ハイビーム時に0Vとなる配線が存在する場合があります。
このような配線には絶対に接続しないでください。ハイビーム操作でヒューズまたは装置が故障します。
ハイビーム操作時でも、電圧の変化がないロービーム信号配線に接続します。
次に本体ユニットから出ている太い青配線を、ヘッドライトスイッチ制御がマイナスコントロール制御の場合はボディー金属部、プラスコントロール制御の場合はIGN（イグニッション）電源に接続します。
※10～15アンペア程度流れる可能性があるため、IGN電源配線は充分電流容量がある場所から分岐してください。
キーシリンダ部に配線されている太いIGN電源配線もしくは、ヒューズボックスなどから直接分岐してください。
※配線接続、ボディー金属部への接続はしっかりと確実に行ってください。
4. 電源配線、ボディーアース配線を接続します。
ユニットの赤配線を車両ACC電源配線もしくはIGN電源配線に接続します。
ユニットの制御電源となりますので、本配線に12Vが通電しているときにユニットは作動します。
次に、ユニットの黒配線をボディー金属部またはアース配線に接続します。
5. 照度センサーを設置します。
照度センサーをフロントガラス下のダッシュボード上に両面テープで固定設置します。
センサーの膨らんでいる方が感光面になります。膨らんでいる方を上側にして、センサーに影がかからない場所を選んでください。
6. 動作確認をします。
キーをON位置にして、照度センサー部を手で塞ぎ、暗くします。
この状態でスマールライト、ヘッドライトが自動点灯することを確認します。
暗さの度合いで、スマールライトのみ、またはヘッドライトの同時点灯かが変わります。
また、手を離してセンサー部を明るくすると、ライトが自動消灯することを確認します。
7. 必要に応じてセンサー感度を変更します。
何日か出荷状態のままでご使用いただいた後、センサー反応感度が鈍い（暗いのにライトが点灯しない等）と感じられた場合、ユニットのセンサー感度変更スイッチを切り替えてご使用ください。
出荷時よりも感度が敏感になります。
以上で終了です。 お疲れ様でした。

※オプション接続線（橙）をサイドブレーキに接続した場合にサイドブレーキランプがサイドブレーキOFF時に点灯する車両があります。その場合は橙線とサイドブレーキ配線の接続の間に整流ダイオードを入れる事で解消します。
使用する整流ダイオードは1A程度の物をご使用ください。



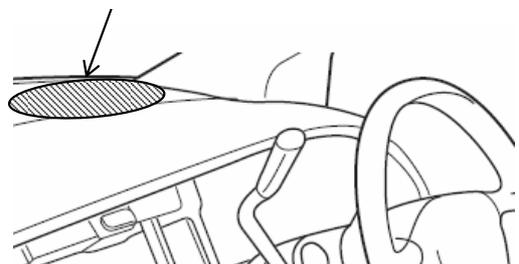
照度センサー取付方法

センサーを横から見た図



センサー設置位置

ダッシュボード前方の視界を遮らない位置に設置してください。また、ピラー等の影が当たらない位置に設定してください。



オートライト（コンライト）ユニット用オプション 車速連動消灯ユニット TATLIGHT-OP1 取付説明書

パーソナルCARパーツ

この度はオートライトユニット用オプション 車速連動消灯ユニット TATLIGHT-OP1 をご購入いただき誠にありがとうございます。

本機を取り付ける際は、予めバッテリーのマイナス側ターミナルを取り外し、感電、短絡事故が発生しないよう、十分に気をつけて作業を行ってください。

短絡（ショート）を発生させると最悪の場合、各種ECU（車に装着されているコンピュータ）が破損し走行不能に陥ることも予想されます。 充分予備知識を蓄えた上で、取り付け作業にとりかかるとをお勧めします。

また、取付けに関するサポートは出来る限りさせていただきますので、お気軽にメールをください。

車種毎の配線図を車を購入されたディーラから入手されると、より具体的なサポートが可能となりますので、ご一考願います（必要な部分は、ライトスイッチ周りの配線図です）

それでは、本機が快適なカーライフの一助となれば幸いです。

動作仕様

本ユニットの動作仕様は、下記のとおりとなります。

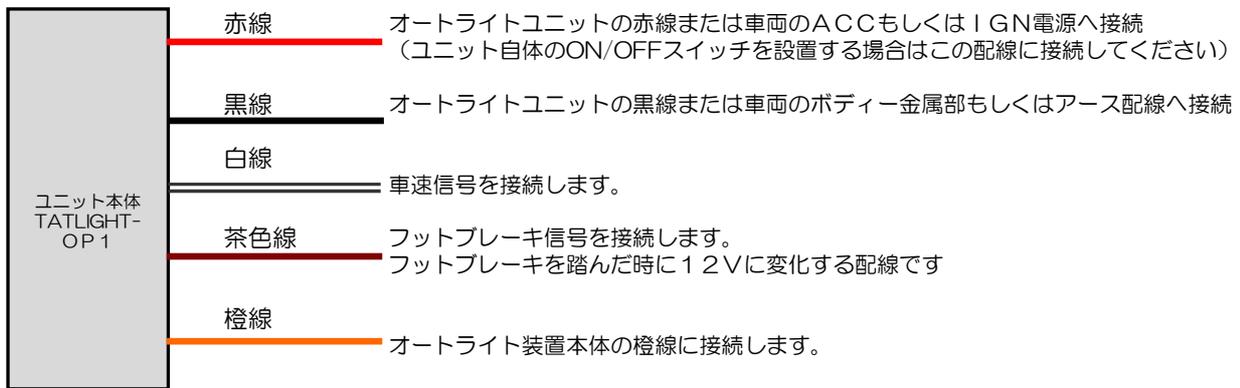
◎オートライトユニット（TATLIGHT-OP1）のセンサー動作によりヘッドライト点灯時に信号待ち等でフットブレーキが有効かつ車両が停止状態の時に車両停止3秒後にヘッドライトを自動で消灯します。

※スモールランプは点灯した状態となります。

※配線によりサイドブレーキ連動でライトを消灯する事も可能です。

※本ユニットは12V車専用です。 [12V車両以外には取付けできません。](#)

配線図



取付け手順

免責事項

装着の着手を以って、下記事項をご了承頂いたものとさせていただきます。

1、本装置の装着は全て自己責任のもとで実施願います。

2、本装置装着による結果、または過程においてどのような事態に陥っても弊社に責は無いものとします。

※ご注意※

本装置は弊社製オートライトユニット（TATLIGHT）専用のオプションユニットです。

それ以外の装置へ接続されると、装置故障のみならず車両故障等の可能性がございますので、絶対に弊社製オートライトユニット（TATLIGHT）以外の装置に接続しないでください。

- 1 本装置の橙線をオートライトユニット本体の橙線に接続します。
- 2 本装置の白線を車速信号線に接続します。
車速信号はナビ裏から取れる場合がございますので、ナビ装着車の場合オーディオ周りへの結線が必要になります。
また、弊社Webサイト内の「車速感应式ドアロック装置」取付資料内に車速信号の車種別情報の記載がございますので、適合情報のある車両の場合はそちらをご参考にしてください。
- 3 本装置の茶色線（フットブレーキ信号）を接続します。
フットブレーキ付近のコネクタに信号線がある場合がございますので、フットブレーキの付近をお調べください。
信号としてはフットブレーキを踏んだ時に0V→12Vに変化する配線です。
- 4 本装置の赤線（ACC電源）を接続します。
ACC電源線にスイッチを取り付ける事で装置のオン、オフが可能となります。
- 5 装置の黒線をボディーアースに接続します。
- 6 装置の動作確認をして終了です。

以上お疲れ様でした。